

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 加藤 依子 木浪 智佳子 川崎 ゆかり 三国 久美

【概要】

子どもの成長発達および特徴的な疾患の理解に基づき、疾患や治療によって起こる子どもと家族の心身および社会的影響を明らかにする。疾患を有した子どもとその家族に看護援助を提供するための基本的視点を学ぶ科目である。

【学習目標】

1. 小児期に特徴的な疾患の病態・治療の基礎的知識を基に、事例を通して健康障害や治療が子どもの身体・心理・発達および家族に及ぼす影響をアセスメントすることができる。
2. 1のアセスメントをふまえて看護問題の抽出と看護計画を立案することができる。
3. 基本的な小児看護技術の目的、原則を理解し実践できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 小児における看護過程の進め方 事例：川崎病（幼児期）	1. 演習のねらいと進め方、評価方法の説明 2. 小児アセスメントガイドと記録用紙の使い方 3. 事例（川崎病）の提示 4. 川崎病の病態・生理の理解	加藤・木浪・川崎・三国
2	事例：川崎病（幼児期）	1. 情報の分類、解釈の考え方 2. 幼児期の子どもの理解 3. 統合、看護問題の考え方	木浪・加藤・川崎・三国
3	事例：川崎病（幼児期）	1. 個別作業：事例のアセスメント、統合 2. 課題についての質疑応答	木浪・加藤・川崎・三国
4	事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：情報とアセスメントのフィードバック 2. 川崎病の疾患・治療の理解と看護 3. 川崎病をもつ子どもとその家族の理解	木浪・加藤・川崎・三国
5	事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：全体像関連図、統合、看護問題の考え方の理解 2. 個別作業による看護過程の展開（課題学習）	木浪・加藤・川崎・三国
6	事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：全体像関連図、統合、看護問題のフィードバック 2. 看護目標、看護計画の考え方 3. 個別作業による看護過程の展開（課題学習）	木浪・加藤・川崎・三国
7	事例：川崎病（幼児期）	1. 事例：看護計画のフィードバック 2. 川崎病の看護過程のまとめ	木浪・加藤・川崎・三国
8	事例：川崎病の事例（幼児期） （課題提出）	1. 関連図の作成	木浪・加藤・川崎・三国
9	事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例の提示 2. 気管支喘息の疾患・治療の理解と看護 3. 学童期の子どもの理解 4. 事例の情報収集とアセスメントの考え方の理解	加藤・木浪・川崎・三国
10	事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例：情報収集とアセスメントのフィードバック 2. 気管支喘息をもつ子どもとその家族の理解	加藤・木浪・川崎・三国
11	事例：気管支喘息（学童期）	1. 事例の全体像関連図、統合、看護問題、看護目標の考え方	加藤・木浪・川崎・三国

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		2.個別作業による看護過程の展開(課題学習) 3.事例 : 全体像関連図のフィードバック	
12	事例 : 気管支喘息(学童期)	1.事例 : 統合、看護問題、看護目標のフィードバック 2.事例 : 看護計画の立案と評価基準の考え方 3.個別作業による看護過程の展開(課題学習)	加藤・木浪・川崎・三国
13	事例 : 気管支喘息(学童期)(課題提出)	1.関連図の作成	加藤・木浪・川崎・三国
14	事例 : 気管支喘息(学童期)	1.事例 : 看護計画のフィードバック 2.気管支喘息をもつ子どもの観察と看護 3.事例 の看護過程のまとめ	加藤・木浪・川崎・三国
15	演習のまとめ、評価	1.事例、 の看護過程のまとめ 2.臨地実習の準備に関する説明	加藤・木浪・川崎・三国

【評価方法】

知識確認20%, 課題提出80%, (事例50%, 事前学習ノート30%)

提出課題の内容が不十分な場合および未提出の場合は減点対象とする。

【備考】

教科書 : 1. 西 基 : STEP小児科第3版 海馬書房 2012

2. 二宮 啓子・今野 美紀 : 小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助 改訂第3版 南江堂 2017

3. 今野 美紀・二宮 啓子 : 小児看護技術 子どもと家族の力をひきだす技 改訂第3版 南江堂 2017

教科書1~3は2学年からのものを引き続き使用

参考書 : 事例ごとに提示する

その他 : ・講義日程の詳細は、初回のオリエンテーション時に提示する。

【学習の準備】

1. 2年次の小児病態論や小児看護学で学修した内容を参考にし、小児の年齢別にみた発達の特徴、事例 の疾患、治療、看護について予習する。

2. 授業では課題に対するフィードバックを随時行うので、課題の作成と提出をすること。

課題の内容および提出方法は、初回のオリエンテーション時および授業毎に説明する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, 1, 3

【実務経験】

加藤依子(看護師), 木浪智佳子(看護師), 川崎ゆかり(看護師), 三国久美(保健師)

【実務経験を活かした教育内容】

小児看護及び母子保健の実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。